



本郷台小 だより

1月 

横浜市立本郷台小学校
令和4年1月7日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

結ぶ

校長 原 南実子

昨日は、校庭も木々も真っ白になるほどの雪でした。今朝は、安全に登校できるよう、保護者の皆様、学援隊の皆様にはご配慮、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

あらためまして、明けましておめでとうございます。年末からオミクロン株などコロナへの心配は続いていますが、気持ちを新たに、実り豊かな年にしていけたらと思います。

さて、先日、「水引」で作ったアート作品に出会いました。壁飾りやお祝い袋、ブローチなどのアクセサリ、花や鳥のオブジェなど様々な作品にふれ、日本古来の伝統的な文化のすばらしさを感じました。水引について説明した文章にも心を惹かれました。水引で結んだ一つ一つには意味があるということ、「結び」という言葉のルーツは「産すび」つまり、ものを生み出すということにあることなど、「結ぶ」が持つ意味について書いてあったのです。「ものを生み出す力」として意味を有する「結び」という言葉に、本郷台小の子ども達の学びや育ちが重なりました。



本郷台の子ども達はどの学年でも、地域の方やその道のプロの方など、様々な方とつながりを持ちながら学習を進めています。他学年とつながりを持ちながら進めている学習や行事もたくさん行われています。そこで子ども達はどんな力を生み出しているかということ、つながった方々に刺激を受け、より高みをめざそう、チャレンジしてみよう、という力を、パワーを新たに生み出しています。また、つながることで自分たちの認識を広げるとともに、新たな認識をつかむ、という力を生み出しています。まさに「生みだされた力」そのものと言えます。子ども達のこうしたつながりをよく見てみると、単発のつながりではなく、何度も繰り返し、気持ちをしっかり結んだつながりであることがわかります。気持ちと気持ちが結び合わされる、そんなつながりなのです。2年生の子ども達は、生活科でまち探検に出かけ、そこでまちの方々との縁を結んでいます。駅前アーケード商店街の皆様や笠間町公園愛護会の皆様、公園を管理する土木事務所の皆様などと何度もかかわり、一緒に活動したりしてきました。会うと嬉しい、そんな関係を結んでいきました。笠間町公園では愛護会や土木事務所の方と一緒に公園清掃をしたり球根を植えたりすることを通して、愛護会や土木事務所の皆さんの「気持ち良いまちをつくりたい」という気持ちにふれ、その思いを感じた子ども達は、自分たちも気持ちのいいクラス、気持ちのいい学校、気持ちのいいまちをつくりたい、と行動を始めています。大好きになった町の人たちのように私たちもなりたい、という新たな力を生み出すことができました。5年生で「風呂敷」を材に総合を行っているクラスでは、風呂敷を通して活動を行っているプロの方を自分達で探し出し、お願いの手紙を出し、学びの時間を創りました。それをきっかけに、風呂敷は柔軟な発想でいろんなことができるもの、フレキシブルを言い換えてフロンキブル、こんな新たな考え方、発想を学びました。冬休み前には風呂敷で登校にチャレンジした子ども達。ランドセルの良さ、風呂敷の良さをそれぞれ試しながら日本文化やその知恵を実感するとともに、SDGsと風呂敷を関連付けて考え方を広げています。人と結ばれることによって生み出された力です。

人と関わり、気持ちを結ぶ事で生まれる新しい力が確かにそこにはあります。生み出される心、生み出される新たな認識、生み出される行動力。これからの教育に求められる「豊かな生き方につながる学び」として今年も大切にしていきたい本郷台小の学びの姿です。子どもたち同士の学び合いも、「結び」を通して生み出される新たな力につながります。大切に育んでいきたいと思えます。子ども達が健やかに、明るく育ち学び続けることができますよう、本年もどうぞよろしく願いいたします。